南アルプス市 平成 25 年度

## 事務事業マネジメントシート

(兼)予算編成資料・実施計画資料	作成日口	26 年	3 目	94 <b>口作</b> 后

					<u>√</u> √ ∧	(人) 另例	删以具个	化大心	川凹貝作	r 1F7		40 <del>4</del>		<u> </u>	24 D 1 F J	χ
	事務事業名	≪H25拡充≫防災対策事業				所属部局		総務部	İ	単位番号		31	18			
=						所属課室	危	危機管理室		課長名		手塚 千広				
			□ 実施計画事業							á B	方災担当	1	担当者名	1	佐野 秀	仁
-	基本政策	基	I	情報と連携	まの 邦 古・	づくn			予算科目	会計	名称	款	項	Ш	細目	細々目
2	至中以東	基本		旧私こ生が	をヘン石り111	259			了异代日	01	一般	09	01	05	020	03
	政策	計	06	安全か得!	きべくり					□国	の制度によ	る義務	的事業	□ 施詞	<b>殳等維持管</b>	理事業
	以及	<b>本</b> 画 —		安全な環境づくり		事業区分		の制度によ				助金交付事				
	施策	体系	08	R士公 /木生1/	体制の充実			尹未匹刀	□市	の制度によ	る義務	的事業	<b>∨</b> そ0	の他の事業		
	<b>他</b> 束		一一 奶灰件间砂儿关						□ 義:	務化されてし	いる協詞	議会等の	負担金	•		
7	事業期間		単年度のみ	→ 🔽 単年	度繰返	(開始年度	15	年度)	法令根拟	П						
			期間限定複		(	$\sim$	年		石口似以	14						
事引	業の内容・・・	期間	限定複数年	度事業はク	7年度以降	锋3年間の計	画内容も記	己載	事業費の	主な内訳	( 25年	度 決	算見込 項目(約	)		
務日	24年度事業名:[	防災	対策事業						項目(約	細節)	- 金額(千F		項目(約	細節)	金額(	(千円)
事	防災訓練や防災			2.11.4bit	+. k ====				賃金		4,1	153				
~	災害用備蓄品の	整侧	前を進め 防ジ	(体制の允)	<b>夫を図る。</b>				報償費			57				
の									需要費		1,1	167				
概要									役務費			134				
安									賃金 報償費 需要費 役務費 備品購入	費	4,6	646	計	•		10,157

の 概 要	需要第一役務項品	費 購入費	1,167 134 4,646	計	10,15
1 現状把握(DO) (1) 事務事業の目的と指標 (1) 活動	1	⑤ 活動指標	(事務事業の活動	h景を実才指揮)数5	z(十記 ス l <i>t</i> c)
25年度活動実績 品 総合防災訓練、土砂災害訓練、避難所開設訓練、防災講座、備蓄	<b>_</b>	ア各種防災	<b>名称</b> 訓練回数	リ里で4X 9 ]日1示/ XX つ	単位
26年度活動予定 総合防災訓練、土砂災害訓練、避難所開設訓練、防災講座、備蓄 ② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		イ 備蓄数量 ウ ⑥ 対象指標	(対象の大きさを	表す指標)数字は記	人しない
市民 災害時備蓄食糧の確保	⇒	ア 防災訓練 イ 災害時備	<b>名称</b> 参加人数 蓄食糧数		<b>単位</b> 人 食
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)		ウ <mark>⑦ 成果指標</mark>	<mark>(対象における意図</mark> 名称	の達成度を表す指標)	<mark>数字は記入しな</mark> 単位
防災体制の充実を図るとともに市民の防災意識の向上を図る。 有事の際、効率的に行動ができるようにする。	⇒	ア 防災訓練イ	参加者		人
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)		フ: <mark>⑧ 上位成果</mark>	指標(結果の達 <sub>原</sub> 名称	<mark>戊度を表す指標)数</mark> :	<mark>字は記入しなし</mark> 単位
災害発生時に迅速、的確な対応ができ、被害者の発生が軽減できる。	⇒	ア火災被害イ	者数		人

(2)	事	業費・指標の推移	多	単位	23年度 (決算·実績)	24年度 (決算·実績)	25年度 (決算見込·実績)	26年度 (予算·目標)	27年度 (計画·目標)	28年度 (計画·目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年		財工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	金	千円		2,363					
一間	事	₮₮₮₮₮₮₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽		千円							
 	業			千円							
Ì	書	訳しその他		千円							
タ		一般財源	_	千円	7,532	11,399	10,157	8,794	8,794	8,794	
ル		事業費計(A	,	千円	7,532	13,762	10,157	8,794	8,794	8,794	0
	人	777704900 DC 4-7 C	数	人	4	4	4	4	4	4	
ス	件	延べ業務時間		時間 千円	700	700	700	700	700	700	_
<b> </b>	費				3,186	3,186	3,186	3,186	3,186	3,186	0
Ė		(A)+(B)		千円	10,718	16,948	13,343	11,980	11,980	11,980	0
	<u>ア</u> 活動指標 <u>イ</u>			回	2.0	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
				個	2,794.0	2,800.0	2,900.0	3,000.0	3,100.0	3,100.0	
			ウ								
		I I de I la Ise	ア	人	23,000.0	24,000.0	25,000.0	26,000.0	27,000.0	27,000.0	
	対象指標イ			食	12,764.0	13,000.0	13,500.0	14,000.0	14,500.0	14,500.0	••••••
			ウ		22.222	24.000.0	25.000.0	22.222	22.22.2	22.222	
			ア	人	23,000.0	24,000.0	25,000.0	26,000.0	26,000.0	26,000.0	
		成果指標	1							• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
			ウ			= -					
	Ŀ	位成果指標	ア	人	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	
			1								

## (3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

(	〕この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたの か?	合併前の旧町村時代から毎年、予算の範囲内で実施している。
(	事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と 比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	東日本大震災後地域住民や自主防災会でも関心が高い。大震災や土砂災害等の災害を減災するために、今後益々力を入れて行きたい。
(	事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会)会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	合併後、毎年同じような計画で訓練を実施している。

## (4) 改革改善の取り組み状況

(中)以手以音の取り他の形が	
① 改革改善の取り組み実施は?	▼ 取り組みしている ⇒【内容↓】 □ 取り組みしていない ⇒【理由↓】
(取り組みしていない場合はその埋田)	今年は災害想定を替え直下型地震が起きた事で行なう。より実際の災害を想定した実践的な訓練を行う。警察 や社協、消防団やアマチュア無線クラブをも巻き込んだ中で避難所開設や情報伝達に力を入れた訓練を行う。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	情報伝達訓練に力を入れた、より実践的な訓練を実施しした。

	事務事業名	<	≪H25拡充≫	防災対策事業		所属部	総務部	所属課	危機管理室		
2	評価(Check1)担当者	による事									
	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政 の施策に結びつき、貢献して 意図が上位目的に結びついて	いるか?	☑ 結びつい	ている <b>⇒</b> 【エ	理由↓】		⇒ 3評価(Check	2)・4今後のた	7向性に反映		
的妥	② 公共関与の妥当性この事務事業を税金を投入しわなければならないのか?		安全・安心のまちづくりのためには欠かせない事業である。  □ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映  ☑ 妥当である ⇒【理由↓】  △志尼に関わることである ⇒ (理由↓】								
当性評	は可能か?	行すること	全市民に関わることであり、市が中心的役割を担い、積極的に取組んでいく必要がある。  事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。  民間・NPO  市民協働								
価	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から の事務事業を将来にわたり、 していくことは妥当か?目的や 要性を見直す余地はあるか?	維持・継続 や事業の必	☑ 適切である	<ul> <li>見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映</li> <li>適切である ⇒【理由↓】</li> <li>一人ひとりの防災意識の向上をはかることが重要であり、継続する必要性がある。</li> </ul>							
	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を ることはできるか?できない場 原因でできないのか?	向上させ	□ 向上余地	向上余地がある がない	⇒【理由↓】 ⇒【理由↓】 ⇒【理由↓】 ⇒【理由↓】	⇒ 3	評価(Check2)・4章 評価(Check2)・4章				
有	⑤ 類似事業との統廃合・連携	携の可能性			頃似する事務事業						
効性評	類似した目的を持つ事務事業 るか?類似事務事業がある場 事務事業との統合や連携を図 できるか?	場合、その		連携ができる 連携ができない 事業がない	⇒【理由 <i>\</i> ⇒【理由	<b>∠具体案</b> ↓ ↓】	】 ⇒ 3評価(0	Check2)·4今	後の方向性に反映		
	⑥ 休止・廃止した時の影響 止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した 響はあるか?また成果から考 止・廃止することはできるか?	た場合影	<ul><li>□ 影響なし</li><li>▼ 影響あり</li></ul>	⇒【理由と影響		が一番重	□ 休止・廃止ができる 休止・廃止できる 防災については繰り ある	い ⇒【理由↓	東をすること一が番重要で		
	⑦ 事業費の削減余地		□ 削減余地		理由・具体案↓	] ⇒	3評価(Check2)	・4今後の方向	性に反映		
効率性	成果を下げずに事業費(コストできないか?(仕様や工法の) 住民の協力など)		<ul><li>✓ 削減余地がない ⇒【理由↓】</li><li>必要最低限の予算で実施しており事業費の削減は難しい。</li></ul>								
評価	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減て か?(事業のやり方の見直し 時間の削減や臨時職員対応 託による削減はできるか?)	による業務	□ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 □ 削減余地がない ⇒【理由↓】 □ 事務実施に関わっている職員については、最低限の時間内で事業を執行しており、削減余地はない。								
平性	⑨ 受益機会・受益者負担の通地 事務事業の内容が一部の受っていないか?受益者負担を見	益者に偏っ	<ul> <li>見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映</li> <li>公平・公正である ⇒【理由↓】</li> <li>市内全域を対象としており、適正である。</li> </ul>								
価	はないか?公平公正か?	UE / 2 A	111111111111111111111111111111111111111	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	211 (0) 00						
3	評価(Check2)担当課		こよる評価結		\ <u>纵</u> 纤/击死击—	七中长二十二	<b>紅田太振いをいたざい</b>	ナ_ = L =田町 へ	後の士戸州笠について		
(1)	) 1次評価者としての評価結 ① 目的妥当性 ☑ 適切	••••••	.金地あり				<del>筒果を振り返り取りい</del> 識を高めるために啓蒙		後の方向性等について) に行なう。		
	9	□見直し									
	③ 効率性 ☑ 適切	□ 見直L	余地あり								
	④ 公平性 ☑ 適切	□ 見直L	余地あり								
	今後の方向性(事務事業										
(1	)今後の事務事業の方向性	生(Check1	の結果から定			T 44 7		) 改革・改善に	よる方向性		
	廃止(目的妥当性①、②、③0     休止(目的妥当性①、②、③0		_	:台・建携(有効性  上(有効性④の#	E⑤の結果)□ 公 結果) <b>▽</b> 刊:		ド半性(9)の結果) 平価項目で適切)	N. T	コスト水準		
	· 必要性検討(目的妥当性①、					八作门、工口	11個項目で過過分	削			
(2	2)改革改善案について							向 □ □ □			
ß	方災訓練、防災講演会の実施や	内容の検討・	や、防災資機材	、防災備蓄の再	点検を行なう。			果維 片 低 下			
(4	)改革改善を実現する上で	解決すべき	き課題とその角	<b>军決策</b>			(5		:止の場合は記入不要 度 <mark>評価結果 平成25年度</mark>		
	旦当課の工夫する。					•		<b>艾果優先度評</b> 個			
							_	コスト削減優先り	東評価結果 ⑤		